

平成24年6月期(第21期) 決算ハイライト

平成24年8月3日
アクモス株式会社

目次	■ 連結業績ハイライト……………	2	■ 第22期基本方針……………	12
	■ 連結売上高・営業利益の推移……………	3	■ 第22期業績予想……………	13
	■ 連結キャッシュ・フローの推移……………	4	■ 配当政策・自己株式・株式分割……………	14
	■ 連結財政状態……………	5	■ 対処すべき課題……………	15
	■ 連結貸借対照表……………	6	■ 参考資料……………	16
	■ 連結損益計算書……………	7	・(info.)アクモスグループ事業	
	■ 連結キャッシュ・フロー計算書……………	8	・(info.)アクモスグループ一覧	
	■ 連結業績 セグメント別増減……………	9	・単体損益計算書	
	■ セグメント情報 ITソリューション事業……………	10	・単体売上高・営業利益の推移	
	■ セグメント情報 ITサービス事業……………	11	・単体貸借対照表	

連結業績ハイライト

システム開発案件減少等、ITソリューション事業の業績が影響し、前期に比べ減収減益に
第4四半期にITソリューション事業において人件費を含む経費削減を実施し、営業利益を確保

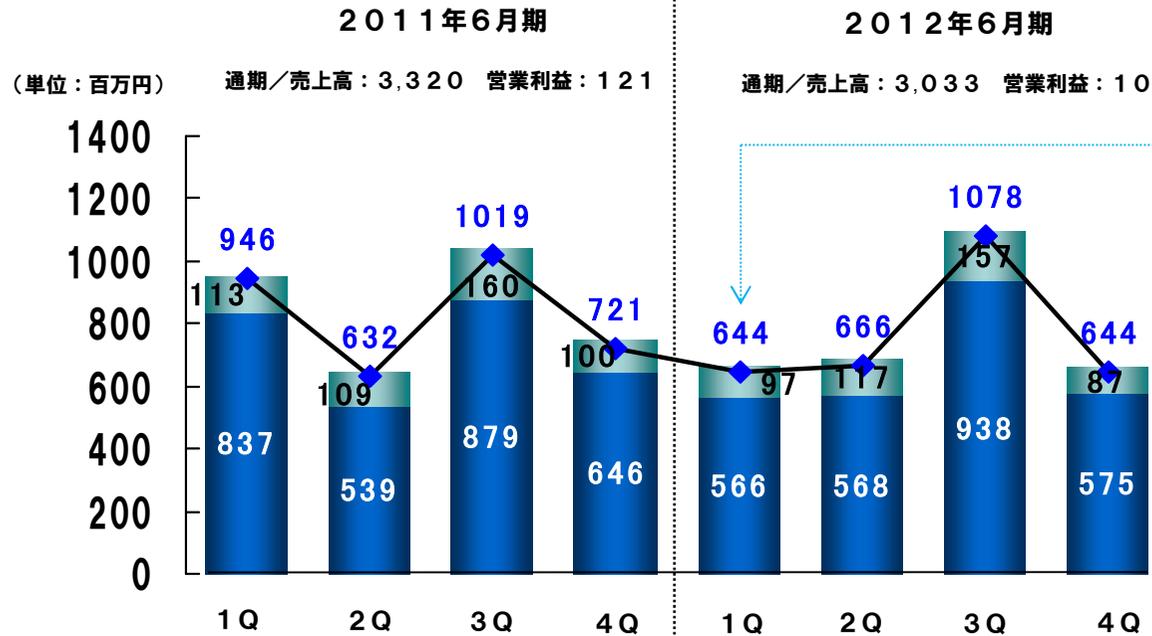
(単位：百万円)

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	3,320	3,033	△287	△8.7%
営業利益	121	10	△110	△91.7%
経常利益	125	31	△93	△74.7%
当期純利益	42	16	△26	△62.2%

※売上高・営業利益の各合計数値は、内部取引控除後の数値となっております。
セグメント別の事業の状況につきましては、10～11ページをご参照ください。

連結 売上高・営業利益の推移

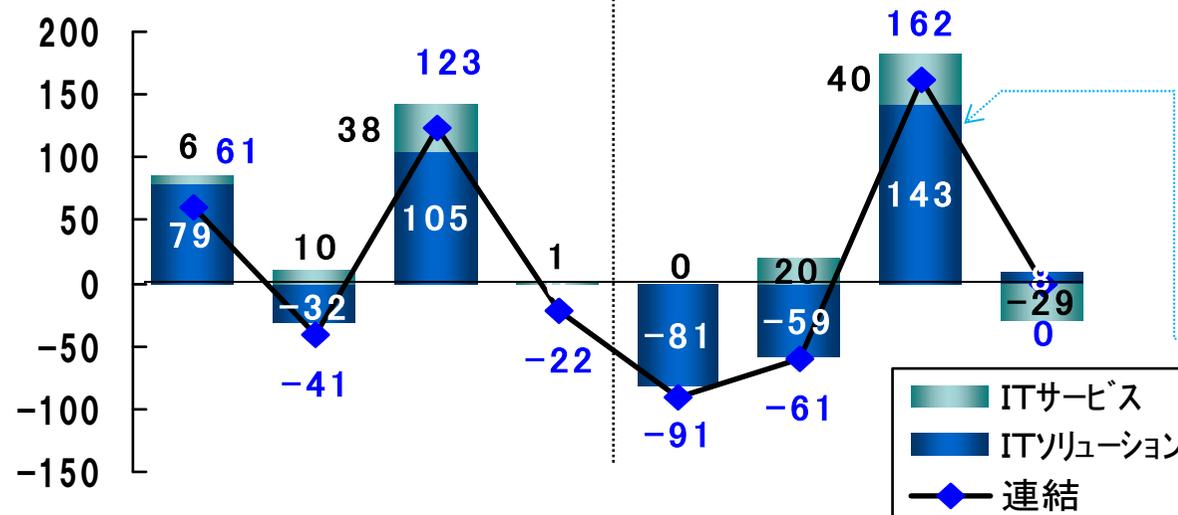
売上高



前年同期には、ITソリューションにて官公庁のシステムリプレース案件売上があり、当期は減少しました。

国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

営業利益

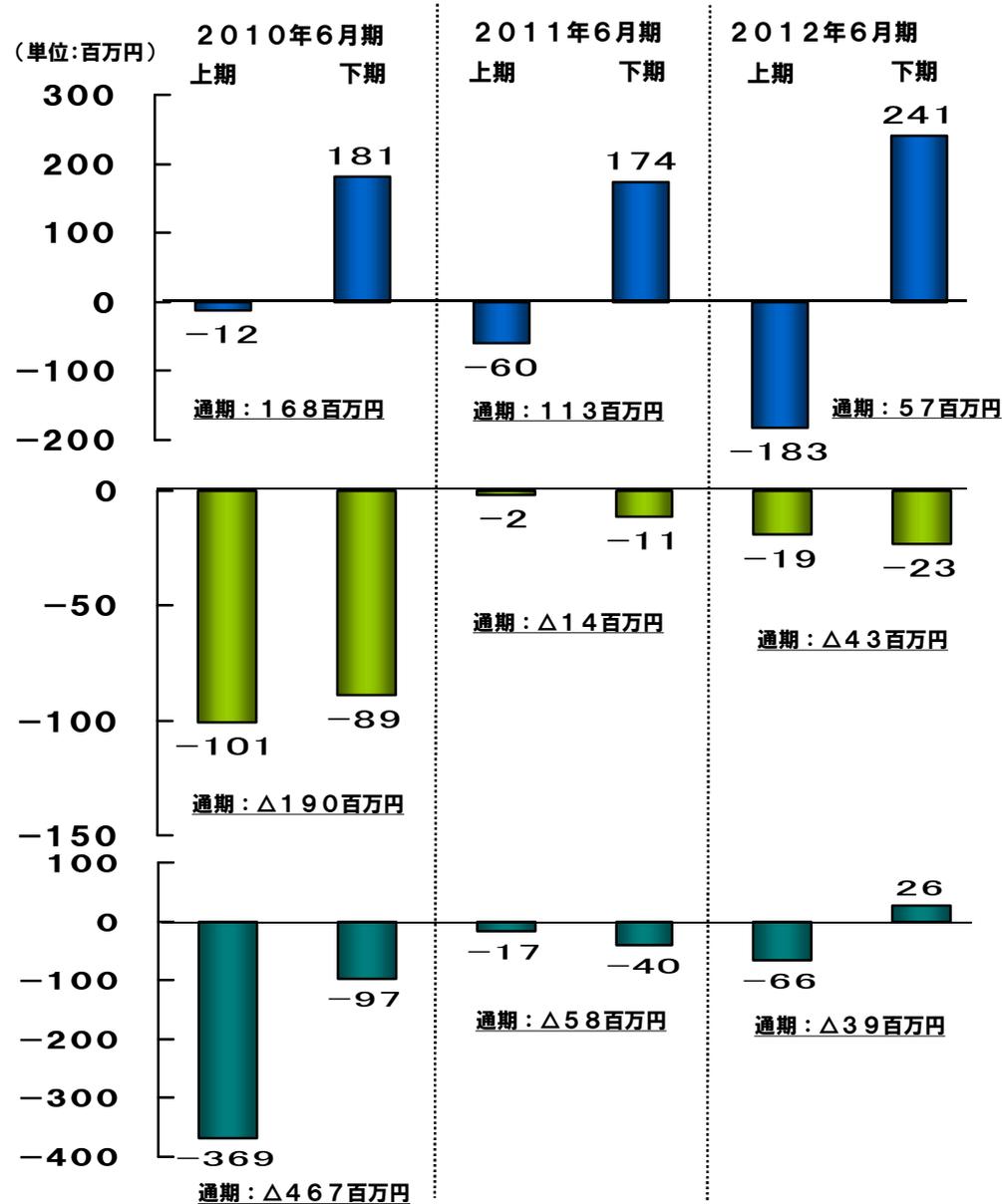


売上高減少に加え、開発期間長期化などの理由で不採算案件が複数発生したこと、自社ブランド製品の研究開発費計上などにより、営業利益が減少しています。

茨城県より受託した平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業完了の影響で、前年同期に比べ営業利益が増加しています。

※2012年6月期よりセグメントの営業利益の算出方法を変更し、のれん償却費を各セグメントに配分して計算しております。

連結 キャッシュ・フローの推移



営業キャッシュ・フロー

ITソリューション事業は、下期3月末の売上計上が多く、下期において売掛金を回収するために、営業キャッシュが下期に増加する傾向にあります。

投資キャッシュ・フロー

2010年6月期は、連結子会社4社の売却により、大きくマイナスとなりました。

財務キャッシュ・フロー

2010年6月期は、借入金の返済を進めたことにより、大きくマイナスとなりました。

連結財政状態

総資産は前期比で減少も、自己資本比率は68.1%を保持(前期比3.4%増)

(単位：百万円)

2011年6月期 総資産 2,351	2012年6月期 総資産 2,217												
<table border="1"> <tr> <td>流動資産 1,758</td> <td>負債 735</td> </tr> <tr> <td>固定資産 592</td> <td>純資産 1,615</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち少数株主持分 93</td> </tr> </table>	流動資産 1,758	負債 735	固定資産 592	純資産 1,615		うち少数株主持分 93	<table border="1"> <tr> <td>流動資産 1,701</td> <td>負債 633</td> </tr> <tr> <td>固定資産 515</td> <td>純資産 1,583</td> </tr> <tr> <td></td> <td>うち少数株主持分 73</td> </tr> </table>	流動資産 1,701	負債 633	固定資産 515	純資産 1,583		うち少数株主持分 73
流動資産 1,758	負債 735												
固定資産 592	純資産 1,615												
	うち少数株主持分 93												
流動資産 1,701	負債 633												
固定資産 515	純資産 1,583												
	うち少数株主持分 73												

- ・有形及び無形固定資産取得 27百万円
- ・長期借入金返済 71百万円

(単位：百万円)

	2011年6月期	2012年6月期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	113	57	△44.0%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14	△43	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58	△39	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,077	1,052	△2.3%
フリー・キャッシュ・フロー	98	14	△85.0%
設備投資 + 研究開発費	52	81	△54.2%
減価償却費	26	26	△0.3%
有利子負債	255	243	△4.5%

連結貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	1,217,855	1,232,719	買掛金	75,539	49,398
受取手形及び売掛金	451,793	376,323	長期借入金（1年内）※	91,470	125,000
たな卸資産	42,286	28,770	未払金	84,536	72,325
その他	46,780	63,850	未払費用	208,549	159,002
流動資産合計	1,758,715	1,701,664	その他	88,055	90,428
有形固定資産	223,594	188,872	流動負債合計	548,151	496,154
無形固定資産	286,181	257,685	長期借入金	163,750	118,750
投資その他の資産	83,198	68,957	その他	23,867	18,402
固定資産合計	592,974	515,515	固定負債合計	187,617	137,152
			負債合計	735,768	633,307
			純資産の部		
			株主資本合計	1,520,228	1,507,182
			評価・換算差額等合計	2,449	3,063
			少数株主持分	93,244	73,626
			純資産合計	1,615,921	1,583,872
資産合計	2,351,690	2,217,180	負債純資産合計	2,351,690	2,217,180

※短期借入金を、前期末に20,000千円、当期末に80,000千円含んでおります。

連結損益計算書（要約）

（単位：千円）

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	3,320,847	3,033,451	△287,396	△8.7%
売上原価	2,255,334	2,047,898	△207,436	△9.2%
売上総利益	1,065,512	985,553	△79,959	△7.5%
販売費及び一般管理費	944,504	975,480	30,975	3.3%
営業利益	121,008	10,073	△110,935	△91.7%
営業外損益	4,335	21,609	17,273	—
経常利益	125,344	31,682	△93,662	△74.7%
特別損益	△61,531	△20,858	40,673	—
税金等調整前当期純利益	63,812	10,823	△52,988	△83.0%
法人税等	22,115	14,388	△7,727	△34.9%
少数株主損失	△750	△19,617	△18,866	—
当期純利益	42,447	16,052	△26,395	△62.2%

前期には官公庁システム案件の売上301,704千円があったこと、主要顧客における案件減少・見直しなどの影響もあり、売上高は前期比で減少しています。

ITソリューション事業にて、自社製品開発のために研究開発費50,033千円を計上したものの、第4四半期に人件費を含む経費削減策を実施したことなどにより、営業利益は黒字化しました。

営業外損益の主な内訳は、助成金収入16,109千円、特別損益の主な内訳は、減損損失18,623千円となっております。

連結キャッシュ・フロー計算書（要約）

（単位：千円）

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	期末	期末		
営業活動によるキャッシュ・フロー	113,669	57,865	△55,804	△49.1%
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,839	△43,040	△28,201	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△58,360	△39,778	18,581	—
現金及び現金同等物の増減額	※ 65,403	△24,953	△90,357	—
現金及び現金同等物の期末残高	1,077,169	1,052,216	△24,953	△2.3%

※連結子会社の決算期変更による現金及び現金同等物の増加額24,933千円を含んでおります。

期末の現金及び現金同等物が減少した主な理由は、

仕入債権の減少26,141千円、その他負債の減少74,844千円、のれんの償却55,765千円、減価償却費26,754千円、減損損失18,623千円、売上債権の減少62,134千円などにより、営業キャッシュ・フローが57,865千円増加したこと、

定期預金の預入による支出77,800千円、定期預金の解約による収入38,000千円により、投資キャッシュ・フローが39,778千円減少したこと、

短期及び長期借入金の借入と返済による純額の支出11,470千円、配当金の支払額28,308千円により、財務キャッシュ・フローが24,953千円減少したことによるものです。

連結業績 セグメント別増減

(単位：百万円)

2011年6月期



ITソリューション



情報処理サービス



IT製品の
テストング



全社消去



2012年6月期



ITソリューションにおいて、
前期の官公庁システムリプレイス案件の影響
があり、売上・営業利益が大きく減少した形となりました。
前期の官公庁システムリプレイス案件を除いた比較
では、売上高47百万円増加、営業利益24百万円減少
となっています。

2011年6月期



ITソリューション



情報処理サービス



IT製品の
テストング



全社消去



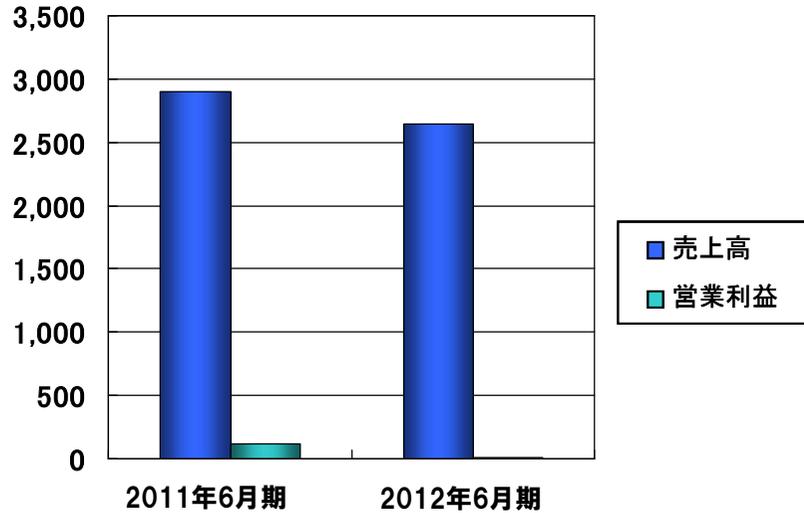
2011年6月期までは、のれん償却額を全社消去に含めておりましたが、
2012年6月期より各セグメントに配分して計算しております。
この影響により、ITソリューション事業で38百万円、情報処理サービス事業で
17百万円の営業利益が減少し、全社消去が55百万円増加しております。

2012年6月期



セグメント情報 | ITソリューション事業

(単位:百万円)



事業の概況

アクモス株式会社 (製造・公共系)

- 電力系システム分野の案件減少、企業のIT投資計画見直し、客先常駐社員への夏季節電対策シフト適用などで、売上減少。
- 請負開発期間長期化などの理由で不採算案件が複数発生、期中に緊急対応を実施し、終息しています。
- CTI(※)等を活用した自社ブランド製品の開発を行っており、デモンストレーション用試作品の制作、市場調査活動にかかる経費として、研究開発費を50百万円計上しています。

ACMOSソーシングサービス株式会社 (医療・製造系)

- 新規顧客獲得もあり、ほぼ予定通りの業績となっています。

(※) CTI(Computer Telephony Integration System)

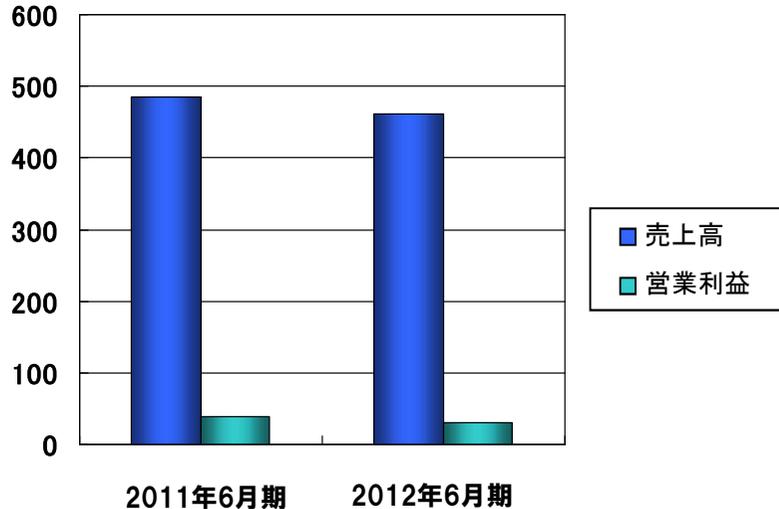
…電話とコンピュータの統合システム (単位:千円)

	2011年6月期	2012年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	2,902,981	2,648,280	△254,700	△8.8%
外部	2,836,847	2,572,645	△264,201	△9.3%
内部	66,133	75,635	9,501	14.4%
のれん償却前 営業利益	152,658	50,211	△102,446	△67.1%
のれん償却後 営業利益	114,288	11,842	△102,446	△89.6%

※2012年6月期よりセグメントの営業利益の算出方法を変更し、のれん償却費を各セグメントに配分して計算しております。
2011年6月期の営業利益は変更後の算出方法で再計算し、参考としてのれん償却前の営業利益を表示しております。

セグメント情報 | ITサービス事業

(単位:百万円)



事業の概況

株式会社ジイズスタッフ (情報処理サービス)

- 入札案件への参加を抑制したものの、リピート受注を獲得、既存顧客の深耕、新規顧客開拓も進み、売上高増加。

株式会社エクスカル (IT製品のテスト)

- 規格認証・技術者派遣では売上が伸びているものの、第三者検証分野の受注半減により売上高減少。
- 前期実施した事業再構築による固定費削減により、前期比で、販管費は7.4%減少しています。
- 2012年3月よりUSB3.0規格認定試験サービスを開始。

(単位:千円)

	2011年6月期	2012年6月	増減	
	通期	通期		
売上高	484,770	460,805	△23,964	△4.9%
外部	484,000	460,805	△23,194	△4.8%
内部	770	0	△770	—
のれん償却前 営業利益	56,922	48,537	△8,385	△14.7%
のれん償却後 営業利益	39,526	31,140	△8,385	△21.2%

※2012年6月期よりセグメントの営業利益の算出方法を変更し、のれん償却費を各セグメントに配分して計算しております。
2011年6月期の営業利益は変更後の算出方法で再計算し、参考としてのれん償却前の営業利益を表示しております。

第22期 基本方針

第22期は、中期経営計画(中計)最終年度として、中計のテーマ”環境変化対応“を維持しつつ、「事業再構築」「新規事業創出」の2つのテーマを中心に置き、事業環境変化への適応と収益性向上を目標に掲げてまいります。

中期経営計画での達成目標

中堅のITソリューションベンダーとして事業基盤を確立、安定的収益を確保



第22期 アクモスグループ基本方針

自社の強みを活かす

自社ブランドの創出

「事業再構築」「新規事業創出」

人材活性化と適材適所人事

品質保証体制の確立

フラットで迅速な組織体制

第22期 通期業績予想

ITソリューション事業では、アクモス株式会社において顧客別に事業再編し、第21期の研究開発活動によって完成した自社製品の営業促進のための専任事業部としてソーシャルソリューション事業部新設。ITサービス事業は、IT製品のテスト事業は厳しい事業環境ではあるものの、ほぼ横ばいの見込み。情報処理サービスは情報やデータに関わる業務のアウトソーシングサービス拡充に努め、新規顧客獲得を目指す方針。

連結 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2012年6月期 通期実績		2013年6月期 通期予想	
	売上高	3,033	3,100	Δ2.2%
営業利益	10	30	197.8%	
経常利益	31	50	57.8%	
当期純利益	16	35	118.0%	
1株当たり当期純利益(円)	165.50	360.84	—	

※ %表示は、通期は対前期増減率。2013年6月期の予想には新規M&Aに等による影響は見込んでおりません。

単体 (単位：百万円 1株当たり情報を除く)	2012年6月期 通期実績		2013年6月期 通期予想	
	売上高	2,394	2,500	4.4%
営業利益	26	50	86.2%	
経常利益	151	80	Δ47.4%	
当期純利益	150	75	Δ50.0%	
1株当たり当期純利益(円)	1,546.54	773.24	—	

配当政策・自己株式・株式分割

安定的な期末配当の実現を目指す

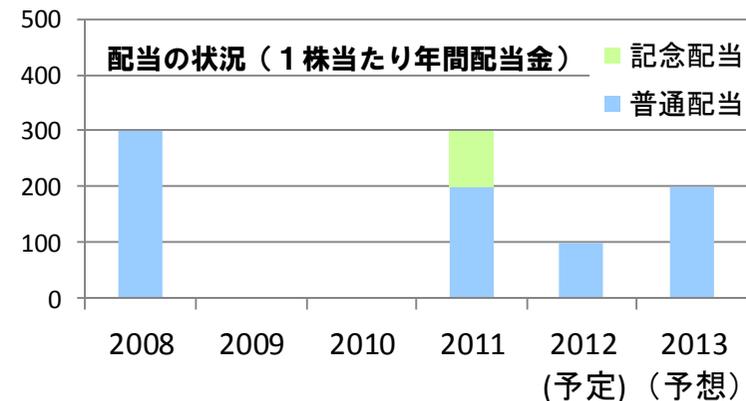
第21期の期末配当は1株当たり100円、第22期の期末配当予想は1株当たり200円

配当政策

当社は、株主の皆様に対する安定的な配当の実現を、中長期的な重点課題として位置づけております。

【利益配分に関する基本方針】

- ・配当原資確保のための収益力向上を図る
- ・財政基盤の強化に努める
- ・単体当期純利益に対する配当性向30%を目標に連結業績を勘案し配当を行う



自社株取得状況

自己株式の取得の実施及び計画はありません。

今後の自己株式の取得については、株価の状況を勘案し実施を検討いたします。

株式分割実施のお知らせ

平成19年11月27日に全国証券取引所が公表した「売買単位の集約に向けた行動計画」の趣旨を踏まえ、当社株式を上場している証券市場の利便性・流動性の向上に資するため、1株を100株に分割するとともに、当社株式の売買単位を100株とするため、1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用いたします。

<分割の日程>

- ・基準公告日 : 2013年6月14日(金曜日)
- ・基準日 : 2013年6月30日(日曜日)※日曜のため実質的には2013年6月28日(金曜日)
- ・効力発生日 : 2013年7月1日(月曜日)

※詳細につきましては、平成24年8月3日付「株式分割、単元株制度の採用及び定款一部の変更に関するお知らせ」をご参照ください。

対処すべき課題

いつも、どんなときも安心・安全な、ITソリューションとITサービスをお客様に提供
社員・家族が安心して業務に従事できる環境を整備

▶ ITソリューション事業に関する課題

- ・不採算案件の事前予防・検出のために品質マネジメントシステムの運用を強化するとともに、自社製品、納品システムの品質確保に努めます。
- ・顧客からの信頼性向上のため、コンプライアンス徹底に努めます。
- ・被災地支援の一環として、東北地区からの新卒・経験者の雇用に長期的に取り組んでいきます。

▶ ITサービス事業に関する課題

- ・IT製品のテスト事業においては、規格認証機関として認証を受けるための体制整備と営業基盤強化のため、他企業とのアライアンスを含め、連携を進めてまいります。
- ・情報処理サービス事業においては、受注拡大に対応できる体制整備、価格競争に負けない体制づくりを目指してまいります。

▶ リスクマネジメントに関する課題

- ・社会インフラや行政サービスを支えるIT企業グループとして、いつもどんなときも、お客様に安心してお使いいただける安全なサービスの提供に努めます。
- ・社員その家族が安心して業務に従事できる環境の整備を、より一層進めてまいります。

アクモスグループは、
社会インフラ・ライフラインの
IT基盤をサポートします



<参考資料>

(Info.) アクモスグループ事業

	ITソリューション		ITサービス	
	アクモス株式会社	ACMOS ソーシングサービス株式会社	株式会社 ジイズスタッフ	株式会社 エクスカル
ソリューション & サービス	アクモス株式会社	ACMOS ソーシングサービス株式会社	株式会社 ジイズスタッフ	株式会社 エクスカル
コンサルティング				品質向上 コンサルティング
SI ソフトウェア開発	公共系システム 産業系システム 制御システム 情報システム エンベデッドシステム	産業系システム 製造系システム 医療系システム		
IT基盤 ネットワーク構築				
保守・運用サービス	24時間・365日体制			
検証サービス				規格認証 第三者検証 ユーザビリティ評価
情報処理サービス			アンケート集計解析 (WEB/マークシート/紙) 試験採点集計・データ入力	
BPO			各種イベント事務支援	

(Info.) アクモスグループ一覧

アクモス株式会社

設立 1991年8月 資本金 6億9,325万円
売上高 2,394百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3121 FAX:03-5217-3122
<http://www.acmos.co.jp>

お問合せ先 hp.biz@acmos.co.jp

主要取引先 株式会社日立製作所、株式会社日立情報制御ソリューションズ、富士通株式会社、株式会社常陽銀行、株式会社日立ビルシステム、日立電線株式会社、日立建機株式会社、アルパイン株式会社、KDDI株式会社、官公庁他



ACMOSソーシングサービス株式会社

設立 1981年3月 資本金 1,300万円
売上高 270百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル4階
TEL:03-5217-3332 FAX:03-5217-3334
<http://www.acmos-ss.jp>

お問合せ先 info@acmos-ss.jp

主要取引先 日本電気株式会社、NECソフト株式会社、東京医科大学病院、埼玉病院他



株式会社ジイズスタッフ

設立 1997年3月 資本金 5,000万円
売上高 273百万円
所在地 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町三丁目26番地8 野村不動産神田小川町ビル3階
TEL:03-5217-3131 FAX:03-5217-3134
<http://www.gstf.jp/>

お問合せ先 inquiry@gstf.jp

主要取引先 官公庁、大学、民間企業、労働組合他



株式会社エクスカル

設立 1998年3月 資本金 2,600万円
売上高 187百万円
所在地 〒240-0005 神奈川県横浜市保土ヶ谷区神戸町134番地
横浜ビジネスパークイーストタワー14階
TEL:045-332-7333 FAX:045-332-7444
<http://www.xxcal.co.jp/>

お問合せ先 kksales@xxcal.co.jp

主要取引先 パナソニック株式会社、株式会社東芝、ソニー株式会社、NTTDocomo株式会社、アマノ株式会社、キヤノン株式会社他



単体損益計算書（要約）

（単位：千円）

	2011年6月期	2012年6月期	増減	
	通期	通期		
売上高	2,672,021	2,394,387	△277,633	△10.4%
営業利益	131,545	26,858	△104,686	△79.6%
経常利益	135,558	151,947	16,389	12.1%
当期純利益	70,700	150,006	79,306	112.2%

■売上高

- ・前期には、ITソリューションの官公庁システムリプレイス案件の売上高 301,704千円
- ・当期は、茨城県平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業完了、新規受注案件があったものの、主要顧客における電力系システム分野の案件減少やIT投資計画の見直し、客先常駐社員の夏季節電対策シフト勤務などにより、十分な売上高の獲得が困難に

■営業利益

- ・売上高減少に加え、不採算案件の複数発生などが影響し、売上総利益が減少
- ・自社製品開発のため研究開発費を50,033千円計上したため、経費削減策を実施したものの販売費及び一般管理費が前期比で 30,925千円増加

■経常利益

- ・連結子会社からの受取配当金104,267千円、助成金収入15,109千円計上

■当期純利益

- ・子会社株式評価損 10,000千円計上

単体 売上高・営業利益の推移

2011年6月期

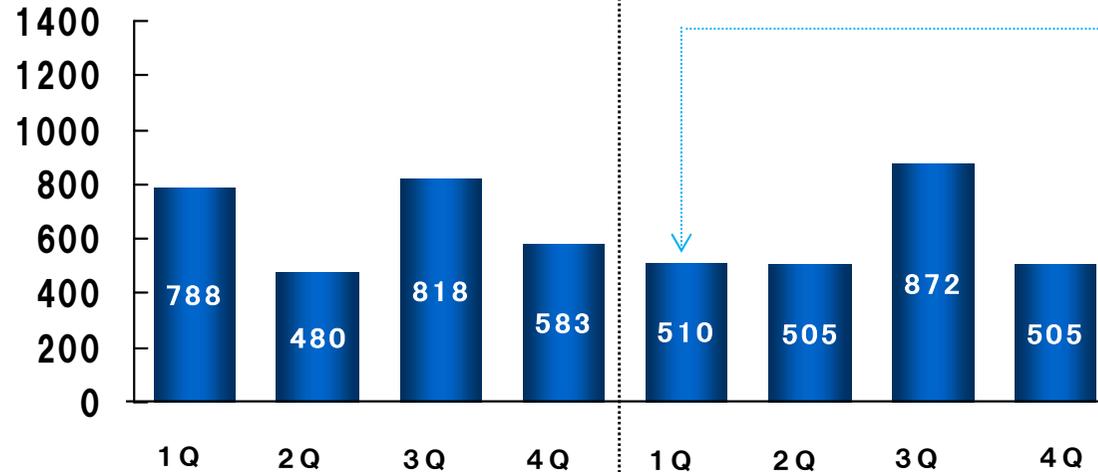
通期/売上高：2,672 営業利益：131

2012年6月期

通期/売上高：2,394 営業利益：26

売上高

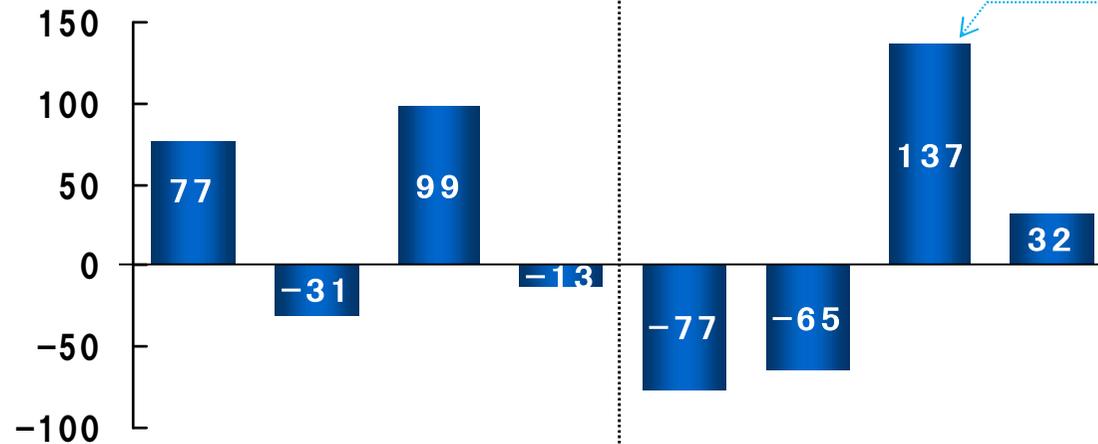
(単位：百万円)



前年同期には、ITソリューションにて官公庁のシステムリプレース案件売上があり、当期は減少しました。

国内法人顧客の多くが3月決算であることから、3月末にあたる第3四半期末において、売上が多く計上される傾向があります。

営業利益



売上高減少に加え、開発期間長期化などの理由で不採算案件が複数発生したこと、自社ブランド製品の研究開発費計上などにより、営業利益が減少しています。

茨城県より受託した平成23年度ひとり親家庭等在宅就労支援事業完了の影響で、前年同期に比べ営業利益が増加しています。

単体貸借対照表（要約）

（単位：千円）

資産の部			負債の部		
科目	前期末	当期末	科目	前期末	当期末
現金及び預金	879,945	951,516	買掛金	73,601	36,953
受取手形及び売掛金	375,162	302,840	長期借入金（1年内）※1	71,470	105,000
たな卸資産	33,606	19,715	未払金	51,976	45,775
その他	52,470	81,100	未払費用	184,114	133,466
流動資産合計	1,341,184	1,353,340	賞与引当金	16,100	10,901
有形固定資産	192,940	184,469	その他	77,522	74,105
無形固定資産	12,284	41,916	流動負債合計	474,784	406,202
投資その他の資産	429,983	401,011	長期借入金	163,750	118,750
固定資産合計	635,208	627,397	その他	16,800	13,203
			固定負債合計	180,550	131,953
			負債合計	655,334	538,156
			純資産の部		
			株主資本合計 ※2	1,318,609	1,439,517
			評価・換算差額等合計	2,449	3,063
			純資産合計	1,321,058	1,442,581
資産合計	1,976,393	1,980,738	負債純資産合計	1,976,393	1,980,738

※1 当期末に、短期借入金60,000千円を含んでおります。

※2 前期末、当期末ともに、自己株式△53,911千円を含んでおります。

■本資料について■

本資料に記載されている将来の見通しなどについては、本資料の発表日時点で入手可能な情報に基づいて作成されたものです。今後、当社を取り巻く内外の経済情勢、業界動向、需給関係等の変化にともない、業績見通しに変更される可能性があります。

また、本資料は、当社の株式購入など投資を勧誘する目的で作成されたものではありません。

なお、本資料の将来の見通しに関する記述に関しましては、法令上その手続きが必要となる場合を除き、事前の予告なく変更する場合がございますので、予めご了承ください。

アクモス株式会社

経営企画室 IR・コーポレート室 TEL:03-5217-3123